

## 新たな臨床研修の到達目標と方略、評価の構成について（案）

### 【到達目標】

#### 全体の構成についての説明文

#### I 医師としての基本的な価値観（各項目は第9回ワーキンググループにおける研究班案）

- 1 社会的使命と公正性
- 2 公衆衛生の向上への寄与
- 3 人間性の尊重
- 4 組織やチームとしての成果最大化
- 5 自らを高める姿勢

#### II 資質・能力（各項目は第9回ワーキンググループにおける研究班案）

- 1 コミュニケーション
- 2 チーム医療
- 3 医学知識と問題対応能力
- 4 患者へのケアと診療技術
- 5 医療の質と患者安全
- 6 医療の社会性
- 7 医療における倫理性
- 8 リサーチマインド

診察法・検査・手技は資質・能力の別表等の形で整理、もしくは評価の枠組みの中で整理してはどうか（第8回・9回ワーキンググループにおける研究班案「遂行可能業務」の考え方）。

### 【方略】

#### I 診療科目

##### 必修科目

- |        |    |
|--------|----|
| 1 内科   | 6月 |
| 2 救急   | 3月 |
| 3 地域医療 | 1月 |

##### 必修選択科目

- 1 外科
- 2 麻酔科
- 3 小児科
- 4 産婦人科
- 5 精神科

医臨床研修部会報告書（平成25年12月）において、研修診療科については、到達目標と連動することから、到達目標と一体的に見直すことが望ましいとされている。また、各診療科の研修期間についても、到達目標の達成が可能となるような期間の設定が必要であることから、到達目標と一体的に見直すことが望ましいとされている（表示している科目は現行の診療科目）。

#### II 特定の医療現場

- 1 救急医療
- 2 予防医療
- 3 地域医療
- 4 周産・小児・成育医療
- 5 精神保健・医療
- 6 緩和ケア、終末期医療
- 7 地域保健

必要な事項を方略として位置づけではどうか（表示している1～7は現行の経験目標）。

### Ⅲ 症状・病態・疾患

症状・病態		疾患
1	ショック	
2	急性中毒	
3	全身倦怠感	
4	身体機能の低下	
5	不眠	
6	食欲不振	
7	体重減少・るい瘦	
8	体重増加・肥満	
9	浮腫	
10	リンパ節腫脹	
11	発疹	
12	黄疸	
13	発熱	
14	：	
：	：	
	胸痛	急性心筋梗塞 狭心症 ：

経験を求める疾患は、主な症状・病態の鑑別疾患より、頻度等を考慮して整理してはどうか。

#### 【評価】

資質・能力の項目について、求められる修得の程度・適切な評価法を提示してはどうか。